

ふれあい通信



根本 千恵子 ●飯豊出身
●千葉支部

老いの楽しみ10年後

前号載せていただいてから早10年となり、まさに老いを実感しています。

「じっち〜」「ばっば〜」の声もほとんどなくなり（孫大好き人間には）寂しい面もあります。地域の自治会から敬老ならではの“集い”に誘われれば断ることを

知らずに出掛け「後期高齢元年!!」と高らかに笑いを取り、周りを和ませています。ゲームは球技関係が多く、卓球からソフトバレーボールまで好きこそもの上手なれ、などと都合よく解釈して参加し楽しんでいます。

わが千葉支部会員にも卓球をされている方がいますので、支部の集会時にでもぜひお手合わせをしてみたいと勝手に考えています。

また野菜作りも30代から続けていますが、こちらでもまた老いは否めません。

「畑うない」をすれば腰を伸ばす回数のなんと多いことか。それでも皆さんに配っては褒められたり喜んでもらえることに満足してやめられません。でも今年の夏は猛暑猛暑で畑の手入れがなかなかできず、春においしそうだったネギが雑草に負けて、一本も収穫できませんでした。“残念”

友人が借りている畑に花を咲かせて、野菜同様ご近所さんに配り喜んでもらっています。（飾ってもらった仏様も喜んでいと自己満足）

最近が高齢者の交通事故が多発しているので帰省の際には十分気を付けて安全運転で行きたいと思います。「いやいや大したもんだ、東京から自分の運転で来るんだから」などおだてに乗らないように自重して!

故郷小野町「笑顔とがんばりのまち」へ「明るく楽しく元氣よく」帰られることを誇りに思います。

地 域 お こ し 協 力 隊 活 動 記

第5話 穴戸の一週間について

小野町の昼夜の寒暖差が結構こたえますね。この寒暖差で小野町のハクサイ、ハウレンソウ、ネギなどが甘くおいしくなるんですよ!

実際に糖度を測ると、一目瞭然、霜が降りるたびに少しずつ糖度が上がっていくんです。おもしろいですね。この1年で野菜にはちょっとうるさくなった、隊員穴戸です。

いつも記事を読んでいただいて本当にありがとうございます!今回は私がどんな感じで活動をしているのかを書いてみたいと思います。

私は主に、市場調査や移動販売などの業務を行っています。

また研修やセミナー、イベントへの参加などやりたい事がある場合にはそちらを優先しています。

それ以外にも、時には生産者を訪問して話を聞いて回ったり、畑で作業をしたり、先日は初めて自分

でトラクターを運転しました。

他市町村の道の駅・直売所の視察、近隣の地域おこし協力隊員との意見交換会なども行っていきます。

週1回は、役場での打ち合わせ、協力隊同士の打ち合わせ(時には一緒にフィールドワークをしたり)を行っています。

現在は県が開催する、ふくしま6次化創業塾などにも定期的に通い、6次化関連の知識・手法について学んだりしながら、農業関連で生業を見つけられないかなど模索しながら活動を行っています。

土日は基本は休みです。イベントなどがある場合には代わりに平日に休みをいただいています。

私のトレードマークは太い黒ぶちメガネです。町で見掛けたら気軽に声を掛けてくださいね!



休みには登山など
しています



秋の収穫!